

2012年1月6日

日本空港ビルディング株式会社

羽田空港国内線 第2旅客ターミナル 3階 ディスカバリーミュージアム 第6回企画展について

日本空港ビルディング株式会社は、2010年10月13日(水)に供用開始いたしました第2旅客ターミナル本館南側拡張部分3階に国内空港初となる空港内美術館「ディスカバリーミュージアム」を開設し、ご利用のお客さまからご好評をいただいております。

次回の第6回企画展は「四百年前の春 武将たちの^{たしなみ}嗜」と銘打ち、徳川家康が関ヶ原の戦いに勝利した1600年代前半、乱世を生き抜いた戦国武将たちが、新たな気持ちで迎える日本の春をどのように感じ、向き合ったのかを五感で感じていただく内容といたしました。五感を通して嗜む日本の文化・武将たちと出会い、忘れ去られようとしている日本の心や心豊かな生き方を再発見してください。

記

1. 次回企画展 「四百年前の春 武将たちの^{たしなみ}嗜」(入場無料)
2. 期 間 【前期】2012年1月21日(土)～2012年2月29日(水)(期間中無休)
【後期】2012年3月 3日(土)～2012年4月15日(日)(期間中無休)

※前期と後期では、一部の作品の展示替えと頁替えを行います。
※展示替え作業のため、3月1日(木)・2日(金)は休館させていただきます。

3. ディスカバリーミュージアム概要

- (1) 場 所 第2旅客ターミナル3階 南端
- (2) 開館時間 平 日 11:00～18:30(最終入場18:00)
土日祝祭日 10:00～18:30(最終入場18:00)
- (3) 電話番号 03-6428-8735
- (4) ホームページ <http://www.discovery-museum.com>

以 上

※すべての展示作品は永青文庫の所蔵です。

永青文庫・・・700年の歴史を持つ細川家の至宝を管理し、国宝8点、重要文化財31点をふくむ、およそ6,000点の美術工芸品と50,000点以上にのぼる歴史文書を所蔵している美術館。

【本件に関するお問い合わせ先】
日本空港ビルディング株式会社
事業開発・運営本部
施設管理部 広告・イベント課
電 話 (03) 5757-8520

【主要作品】 ※前期と後期では、一部の作品の展示替えと頁替えを行います。



視覚

細川幽齋筆 《徒然草色紙貼交屏風》部分図

／桃山～江戸時代初期

細川幽齋（1534～1610）は、織田信長の死後、隠居し、「古今伝授」の後継者となり、鎌倉時代の随筆『徒然草』に注目。兼好法師が「つれづれなるままに」書き綴った全243段の人生観や芸能論から32段を選び、幽齋自ら書写。その色紙を貼った屏風には、ひとりの戦国武将の生き方が映し出されている。



視覚

住吉弘定筆 《源氏物語図》（子日遊）

／江戸時代

江戸時代後期の絵師、住吉弘定（1793～1863）による源氏物語の対幅。第23段の「初音」を描いた「子日遊」では、明石の君が娘に「年月をまつにひかれてふる人に今日うぐいすの初音きかせよ」という和歌とともに、作り物の鶯をつけた五葉の松を贈った場面を典雅に絵画化している。新春のこほぎに満ちた一幅。



味覚

茄子形提重 細川三齋作／江戸時代

細川幽齋の息子、三齋が作ったとされる、平安を感じる一品。茄子の形の徳利に、葉っぱの蓋。その下にはお重が付いている。三齋は妻のガラシャとともに、この提重を持って、気兼ねなく行楽に出かけられる、次の時代、新しい春の到来を心待ちにしていたことだろう。



嗅覚

青磁山岳蓮弁文香炉／室町時代

側面に蓬萊山が浮き彫りにされた花入れに、青い鳥の染め付けの蓋を作って、香炉として茶席で用いた。武将たちの茶席は交渉の場。それぞれの思惑のただよう茶室をなごませたのは、新しい季節の訪れを感じる風や陽射し。そして、香炉から漂う香がその役目を担っていたのだろう。



触覚

利休所持 芒菊桐紋時絵碁笥／江戸時代

千利休所持という伝承のある碁石入れ。武将たちが碁盤上で対峙した時、その傍らで勝負を華麗に彩った逸品。乱世を生き抜いた武将たちは、戦場を碁盤に移し、知恵と戦術を駆使した勝負を繰り広げて楽しんでいただことであろう。



聴覚

桜楽器散時絵小鼓胴／江戸時代

能の囃子道具として使われる小鼓の胴。簫などの楽器と桜の優雅な意匠がほどこされる。細川幽齋は太鼓の名手としても知られ、文禄2年（1593）の禁裏能では、主催者の秀吉がシテ（主役）を演じた際に、太鼓を担当している。